

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	25 滋賀県
市区町村名	25206草津市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
25206草津市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	高齢化により、ボランティア活動から退く方が増えており、社会全体で子どもを育ていく体制を確かなものにするために、活動への協力者、後継者の育成や人材の発掘が課題となっている。	地域との連携や市内にある大学とのつながり、地域コーディネーター間のつながりなどを深め、各小・中学校の事業において新しい人材(活動への協力者)を増やす。各小・中学校の事業において活動に協力していただく分野を増やす。	地域との連携や市内にある大学とのつながり、地域コーディネーター間のつながりなどを深め、各小・中学校の事業において新しい人材(活動への協力者)を増やす。	活動の協力者のすそ野が広がることによって、子どもの学びがより豊かになるとともに、教員の業務負担感を軽減し、充実した取組を行うことを目標とする。	県アンケート「地域と学校の連携協働によって、『学校における働き方改革』につながりましたか」、「地域と学校の連携協働によって、子どもの主体的な学びにつながったり、子どもの学びが深まりましたか」の両設問に対して「そう思う」、「まあそう思う」と回答した学校数	16	校	17	15	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 高校や大学とのつながりを深めて事業を進める学校が増えた。また、地域コーディネーターを対象とした会議で同中学校区間のつながりなどを深めることで、各小・中学校の事業において新しい活動への協力者を増やすことができた。	<a href="https://www.city.kusatsu.shiga.jp/kosodate/kozagakushu/shougakushu/chiikikivoudougakkou/kyodokosuishin.html">https://www.city.kusatsu.shiga.jp/kosodate/kozagakushu/shougakushu/chiikikivoudougakkou/kyodokosuishin.html</a>

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。